

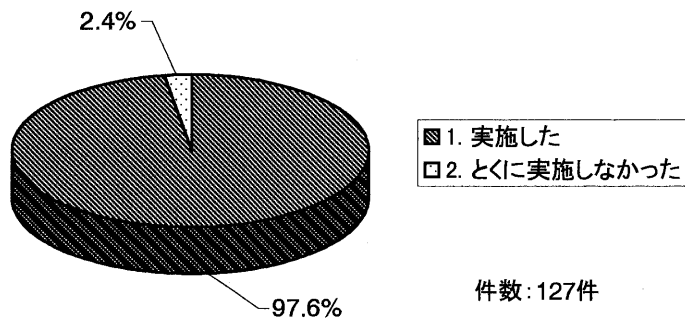
## 5. 開館記念事業の進め方

最後に開館記念事業の実施状況や準備方法について整理してみよう。

### (1) 開館記念事業の実施状況

- ホールの開館に際し、124件(97.6%)のホールで記念事業を実施している。
- 平均の企画数は9.1本、もっとも多いところでは、69本の開館記念事業を実施しているが、10本未満のホールが80件、11本以上20本未満のホールが26件など、20種類以上の開館記念事業を実施したホールは限られている。
- また、公演回数の平均は12回、最多のホールでは、121回の公演を会館記念事業として実施している。

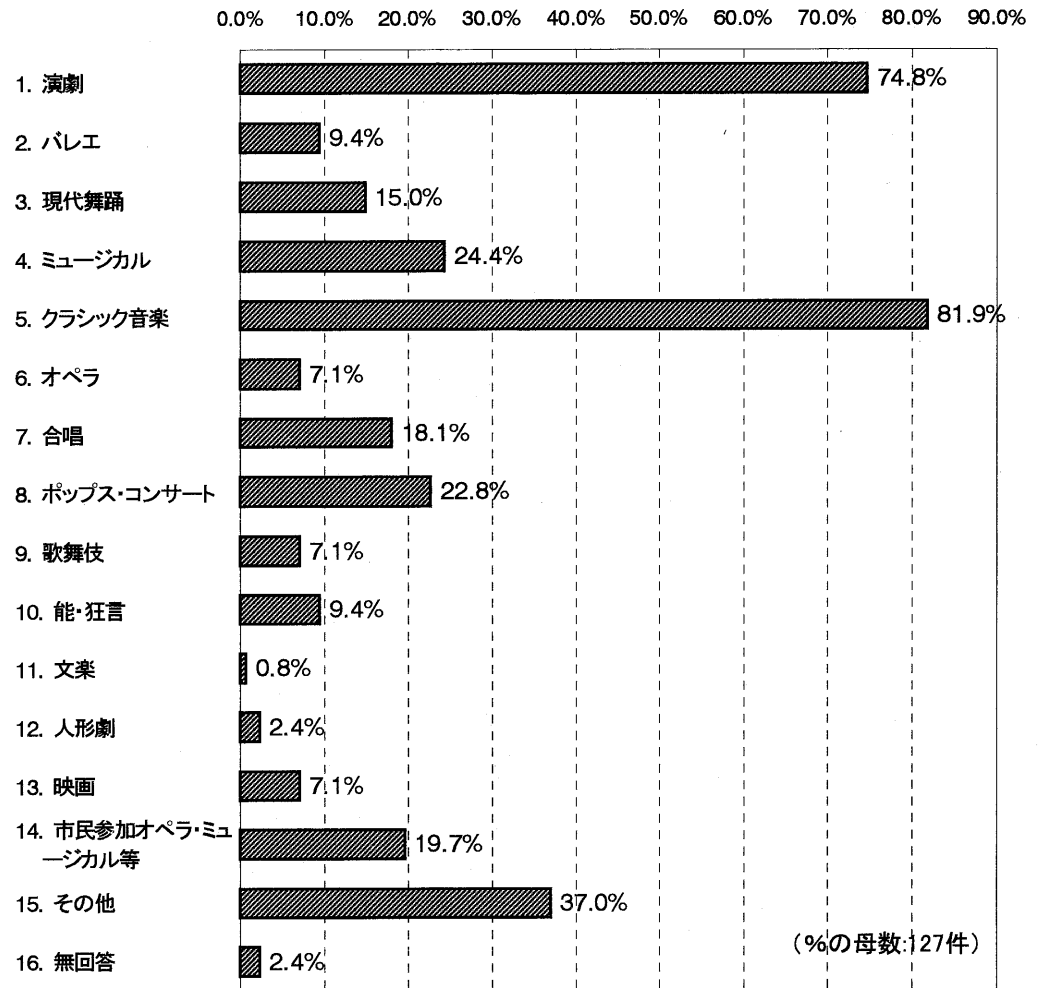
**Q6-1.** 劇場やホールの開館に際し、公演や演奏会などの開館記念事業を実施しましたか。



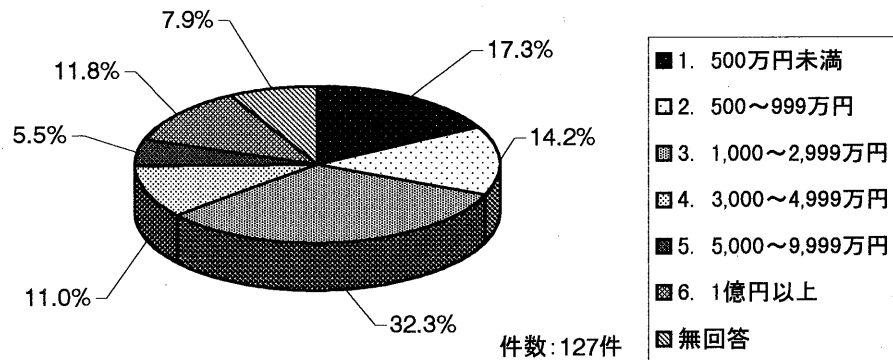
### ① 開館記念事業の実施ジャンルと予算規模

- 企画の内容は、「クラシック音楽」104件(81.9%)、「演劇」95件(74.8%)の2ジャンルが非常に多い。次いで、「ミュージカル」31件(24.4%)、「ポップス・コンサート」29件(22.8%)、「市民参加オペラ・ミュージカル」25件(19.7%)と続く。
- 「その他」回答の95件(74.8%)の内容は、邦楽(和太鼓を含む)(11件)、講演会(9件)、公開番組の録画・録音(8件)、落語(7件)、美術展(6件)、市民参加型公演(4件)、舞踊(4件)、展示(3件)をはじめ、スポーツ大会やポップスコンサート、相撲など多岐にわたる。
- 開館記念事業の予算規模は、「1,000～2,999万円」が41件(32.3%)と最も多く、次いで「500万円未満」22件(17.3%)、「500～999万円」18件(14.2%)、「1億円以上」15件(11.8%)、「3,000～4,999万円」14件(11.0%)と続く。
- 予算規模が「1億円以上」と回答した15件は、都道府県立のホール、大都市圏に立地している複合施設や音楽専用ホールである。

**Q6-3. 開館記念事業で実施したおもなジャンルを次ぎの中から選んでください(複数回答)。**



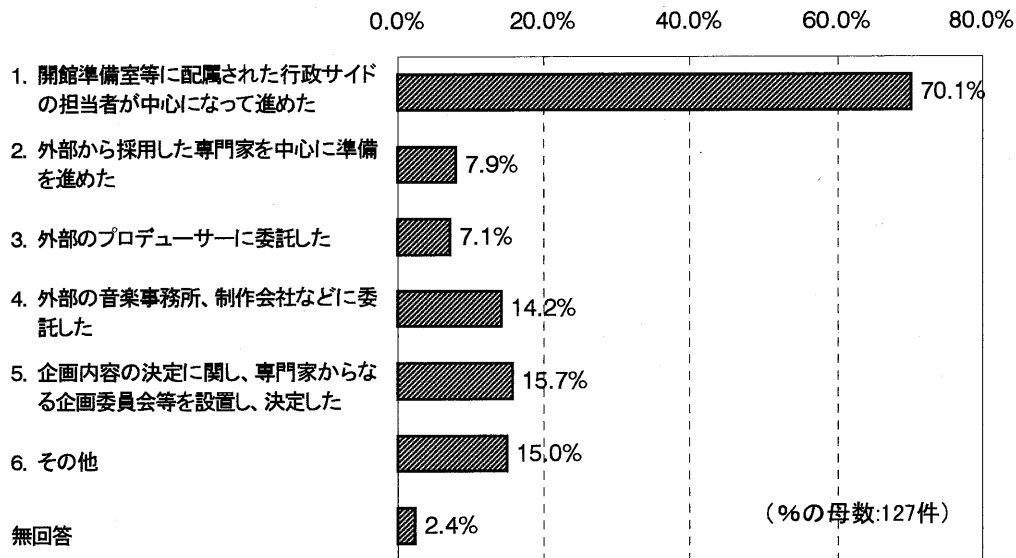
**Q6-4. 開館記念事業の予算規模(チケット売上等は除いた自治体の予算)をお答えください。**



② 企画・制作の進め方

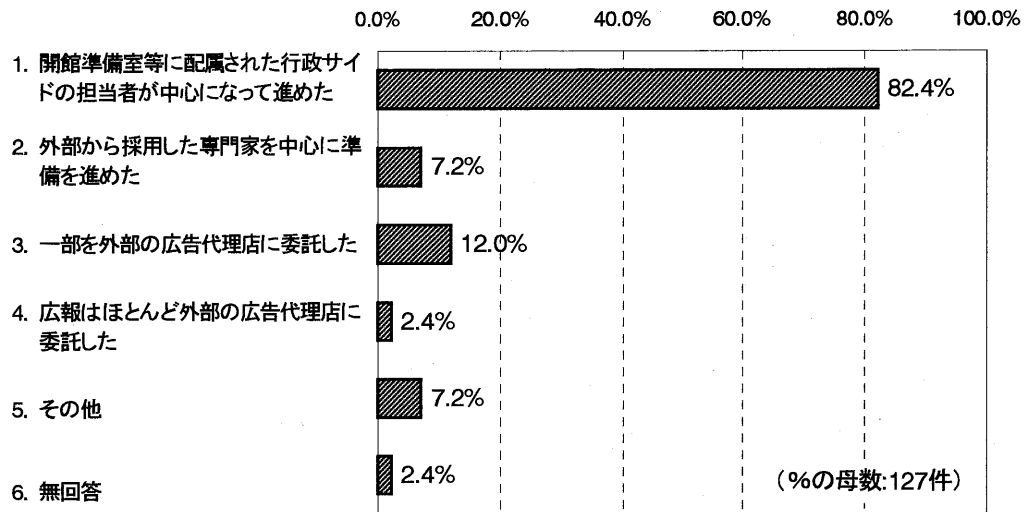
- 企画・制作の進め方については、「開館準備室等から配属された行政の担当者が中心になって進めた」が89件(70.1%)と大きな割合を占める。次いで、「企画内容の決定に関し、専門家からなる企画委員会を設置し、決定した」20件(15.7%)、「外部の音楽事務所、制作会社などに委託した」19件(15.0%)、「その他」19件(15.0%)となっている。
- 「その他」の内容としては、何らかの形で市民代表や市民団体が関わっている場合が8件のほか、公募した市民による企画運営委員会を設置、市民による「利用者協議会」が企画案を練って行政が決定、地元ボランティアグループによる企画と運営などとなっている。

Q6-5. 開館記念事業の企画・制作はどのように進めましたか(複数回答)。



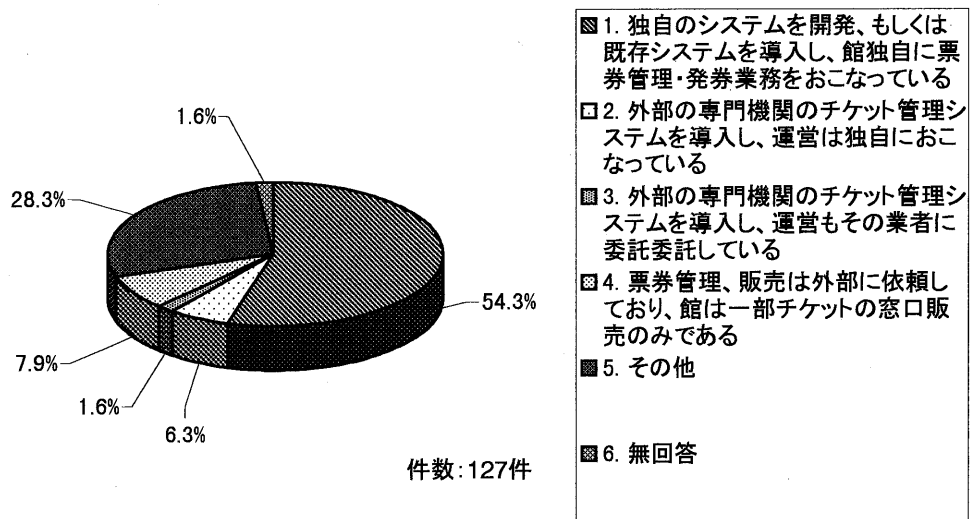
- また広報については、「開館準備室等に配属された行政サイドの担当者が中心になって進めた」が104件(82.4%)と大多数を占める。
- 「一部を外部の広告代理店に委託した」15件(12.0%)、「広報はほとんど外部の広告代理店に委託した」3件(2.4%)といった外部広告代理店の活用もみられるが、その割合は高くない。

**Q6-6. 開館記念事業の広報はどのように進めましたか(複数回答)。**



- チケット販売方法は、「独自のシステムを開発、もしくは既存システムを導入し、館が独自に票券管理・発券管理業務を行っている」が69件(54.3%)と半数以上を占めている。
- 次に、「その他」が36件(28.6%)で、その内容を見ると、複数の回答があったのは、館が票券管理等を行い販売については一部プレイガイドに委託しているケース(11件)、チケット販売を行っていない(有料企画を行っていない)ケース(8件)、職員の手作業(2件)、主催者側(公演団体)が行う(2件)である。

**Q6-7. チケット販売方法について該当するものをお選びください。**



③ 課題や反省事項

- 開館記念事業に関して、約半数のホール(60件、47.2%)が「開館記念事業はスムーズに進み、問題はとくになかった」と回答している。
- 課題や反省点としては、「建設工事の対応に時間と人手を割かれ、開館記念事業の準備が十分にできなかった」24件(18.9%)、「広報や宣伝、パブリシティ活動を十分に行うことができなかった」24件(18.9%)、「チケットの売り上げが予定を下回り、観客動員に苦勞した」23件(18.1%)、「行政サイドの担当者が中心となつて進めたため、契約の方法や金額の妥当性について不明な点が多かつた」17件(13.4%)などをあげたホールが多い。
- 「その他」の主な回答内容は以下のとおりとなっている。
  - 「多目的ホール」として明確な個性を打ち出せない。テーマ等が設定できずに、場当りの事業になってしまった。
  - 財団発足から開館までの期間が短く、もう少し準備期間が必要。短期間に多くの公演を実施したため担当職員にかなりの負担がかかった。
  - 市民にも施設を貸し出しているため、ホールを何日間か貸し切ることのできる練習場所の確保が課題である。
  - 地域住民のニーズの把握が不十分で顧客動員数にバラツキが見られた。
  - チケット販売方法に混乱があり、課題を残した。

Q6-8. 開館記念事業の課題や反省事項に関して該当するものをお選びください(複数回答)。

